

Voice 経験者の声



UNHCR ヨルダン・カントリーオフィス
准プログラム担当者

浅木 麻梨耶 さん
Asagi Mariya

【力を入れていること】
アラビア語の勉強
【好きな国や地域】
ラオス

Q 国際協力業界の魅力は？

A 現場での試行錯誤が
社会貢献と自己成長に

世界情勢に素早く対応して人々をサポートするという仕事ができます。社会や人のために何かしたいという思いを活動につなげ、社会貢献を通じて自分も成長できることに大きなやりがいを感じます。「現場に足を運び、現地の人の声を聞きながら試行錯誤する」という実践そのものが魅力です。

Q この制度の魅力は？

A 多様な価値観に触れられる
環境とキャリアへの支援

各国の参加者との対話から、さまざまな視点を学べます。国内研修では、バックグラウンドが異なる人々と意見をまとめていく術を身につけました。国連の面接について人事スタッフの話を聞く機会があり、また空きポストの情報を教えてくれるなど、キャリア対策が手厚いところも魅力です。

Q 現在の仕事は？

A 各プログラムの調整業務と
モニタリング

保護や保健など、さまざまな分野でチームやパートナー団体との調整を行っています。NGOでの現場経験が長かったので各サポートの需要と供給のバランスなどを俯瞰でき、今までの経験が役立っていると感じます。予算執行率や各プログラムの指標の達成度のモニタリングも担当しています。

Q 学生のときにやっておくべきことは？

A 興味あることに注力し
新しいことにも挑戦を

自分の興味を突き詰めるほか、予想外のことや失敗を恐れず新しいことに挑戦してください。私は「英語が苦手だから」とちゅうちよした国連機関のユースキャンプに思いきって参加して、その経験が英語上達のモチベーションにつながりました。そこで出会った人とは今も連絡を取り合う仲です。



Before

<<<



プライマリー・コースで
学ぶ浅木さん(左端)

After

UNHCR ヨルダン・カントリーオフィスで、同僚と業務内容を確認する浅木さん(右)

Info 募集情報

広島大学国際室国際部留学
交流グループ GPAD 事務局
Global Peace and Development
Career Network (GPAD)

所在地 〒739-8511
広島県東広島市鏡山1-3-2

Tel 082-424-2401

Mail gpad-primary@office.hiroshima-u.ac.jp

ホームページは
こちら！



Career Path キャリアパス

32歳

現職をもう少し経験したいと思いつつ、次のキャリアを考え中。10年後には、難民支援について長期的な復興を目指す戦略づくりに携わることが目標。

23歳

NGOのインターンで、難民キャンプに1年間滞在後、教育・人道支援でアフガニスタン、ミャンマー、ラオス、ウクライナを担当。その後UNHCRへ。

14歳

中学校の先生がJICA海外協力隊の経験者で、現場のいろいろな話をしてくれた。その内容がもしろく、海外に目を向けてみようと思うきっかけに。



広島大学 GPAD 事務局

外務省委託「平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業」



「平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業」プライマリー・コースの研修風景

国連で国際協力を目指す、平和をつくる仕事の第一歩

広島大学では、2024年度から外務省委託を受けて「平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業」を実施している。この事業は、国際社会のさまざまな課題に取り組む、平和や開発の現場で力を発揮できる人材を育てることを目的としている。将来、国連や国際機関で働きたいという人にとって、最初の一步を踏み出すための貴重な機会だ。本事業のプライマリー・コースは、国際機関で求められる実践的な知識やスキルを段階的に学べるよう設計されており、国連訓練調査研究所(ユニタール)や国連ボランティア計画(UNV)と連携し、国際社会に貢献したいと願う一人ひとりの背中を力強く押している。

広島から始まる国際協力

本コースは、オンライン事前研修(2回)と対面研修(約4週間)で構成され、すべて英語で実施される。研修員は日本人中心10名と、アジア・中東・アフリカを中心とした開発途上国の若者約10名の計20名程度で、寝食を共にしながら国際的な感覚や協働する力を育む。こうした多文化環境で切磋琢磨する日々により研修員の視野は広がり、柔軟な思考力が養われていく。

研修では、国際機関でのキャリア構築に必要な基本方針やスキルを中心に、業務遂行能力を向上させるため、実践的な内容を幅広く学ぶ。国

連や国際機関の現役職員、勤務経験者など第一線で活躍する専門家による実践的な指導に加え、模擬面接や個別のキャリアコーチングの機会も設けられており、進路選択に向けて視野を広げることができ。世界の平和構築や開発の最前線で活躍する先輩方から直接学び、志を同じくする仲間とのネットワークを築ける貴重な場になっている。

国連現場での実践

国内研修後、日本人研修員は、国連ボランティアとして約1年間、海外の国際機関で実務経験を積むことができる。派遣先は、国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)や国連開発計画(UNDP)、国連世界食糧計画(WFP)など、分野も多様だ。現場で実際の事業に加わりながら、国際機関で働く上で必要な対応力や現場感覚を身につけていく。

このほか、広島大学では、研修修了生に対し、履歴書の作成指導や面接対策、求人情報の提供など、キャリア構築の支援も継続して行っている。研修員の次につながるキャリアの支援体制は手厚い。「国際機関で働いてみたい」「世界平和に貢献する仕事をしてみたい」と考える人にとって、このプログラムはその夢に近づくための実践的なステップである。本事業で、世界へのキャリアを視野に入れた一歩を踏み出してみるのはどうだろうか。